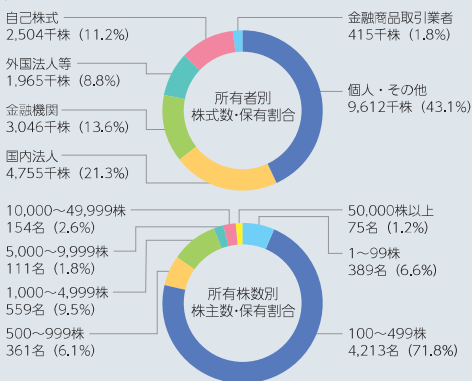


株式の状況	(2021年12月31日現在)	
発行可能株式総数	73,600,000株	
発行済株式の総数(自己株式2,504,286株を除く)	19,795,914株	
株主数	5,862名	
大株主(上位10名)		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
栗山博司	1,492	7.5
NOK株式会社	1,095	5.5
クリヤマホールディングス従業員持株会	624	3.1
クワイエット合同会社	600	3.0
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	515	2.6
株式会社三菱UFJ銀行	491	2.4
株式会社オーハンテックニカ	400	2.0
タイガースポリマー株式会社	386	1.9
イーグル工業株式会社	360	1.8
東京ファブリック工業株式会社	305	1.5

(注) 1.持株比率は自己株式を控除して計算しております。
 2.持株数については、千株未満を切り捨てて表示しております。
 3.持株比率については、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。
 4.自己株式については、上記大株主から除いております。

株式分布状況 (2021年12月31日現在)



会社概要 (2021年12月31日現在)

社名 クリヤマホールディングス株式会社
 英文社名 KURIYAMA HOLDINGS CORPORATION
 資本金 7億8,371万6,600円
 創業 1939年4月5日
 設立 1940年12月21日
 従業員数 1,196名(連結)

役員 (2022年3月24日現在)

代表取締役CEO 社長執行役員 能勢 広宣
 取締役 常務執行役員 小貫 成彦
 取締役 大村 暢彦
 取締役監査等委員(常勤) 宮地 久人
 取締役監査等委員(社外) 七山 聖學
 取締役監査等委員(社外) 酒谷 佳弘
 執行役員 元木 雄三
 執行役員 Brian Dutton

株主優待のご案内

株主の皆さまの日ごろからのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に保有していただくことを目的として株主優待制度を実施しております。

制度の概要

毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式200株(2単元)以上保有の株主様を対象としております。

株主優待の内容

毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された株式数に応じてクオカードを贈呈しております。

保有株式数	優待内容
200株以上2,000株未満	当社オリジナルクオカード 1,000円
2,000株以上	当社オリジナルクオカード 3,000円

贈呈の時期

毎年3月下旬、定時株主総会後書類に同封してお送りしております。

クオカードについて

当社グループのエアモンテ株式会社に販売しております[MONTURA](イタリアのスポーツアパレル)のオリジナルデザインとなっております。



ホームページのご案内

当社最新情報を下記ホームページに掲載しております。

<https://www.kuriyama-holdings.com>



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎年3月
 基準日 定時株主総会…12月31日
 剰余金の配当…期末12月31日
 中間6月30日(中間配当を行う場合)

単元株式数 100株
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 ☎ 0120-094-777(通話料無料)

上場金融商品取引所 東京証券取引所 市場第2部
 公告方法 電子公告の方法により行います。
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載します。
 (公告掲載URL <https://www.kuriyama-holdings.com>)

証券コード 3355

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

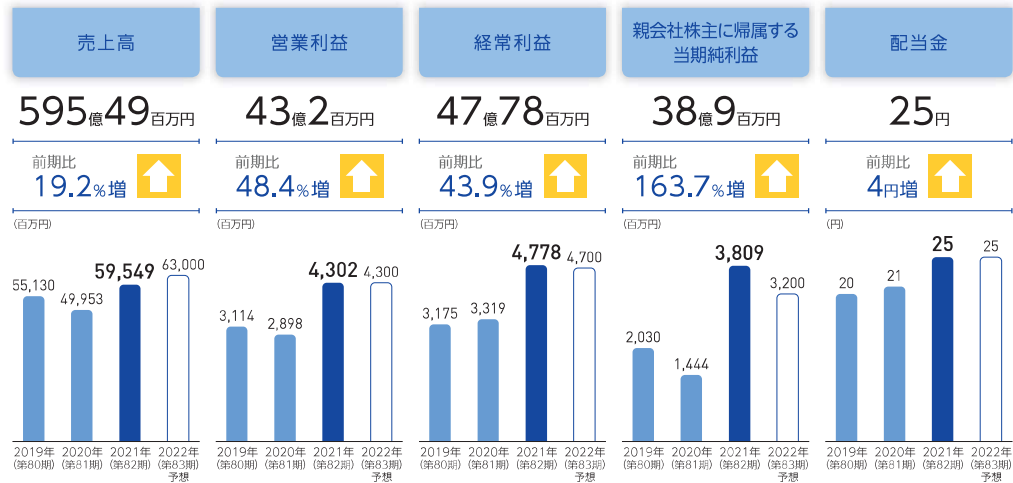


KURIYAMA REPORT

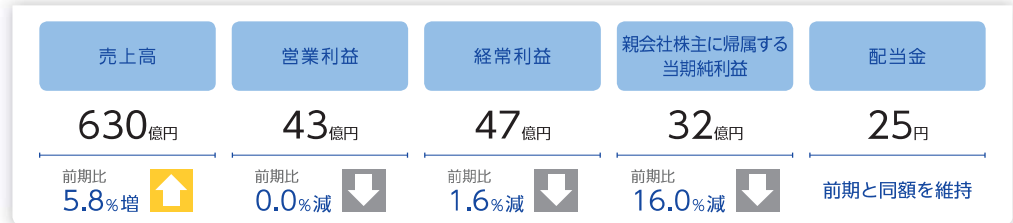
第82期 2021.1/1 ▶ 2021.12/31

Chicago, USA

2021年12月期 決算ハイライト



2022年12月期 業績予想



詳細は、当社ホームページに掲載されている「投資家情報」をご覧ください。
<https://www.kuriyama-holdings.com/ir.html>



持続可能な社会づくりに貢献する 企業グループを目指して

クリヤマホールディングス株式会社
代表取締役CEO 能勢 広宣



株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、本年も新型コロナウイルス感染症による影響が懸念されており、大変な時期が続いておりますが、ご健康に充分に留意されご自愛のほど心よりお願い申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナ

ウイルス感染症の拡大による停滞状況から、各国でのワクチン接種をはじめとした対策により中国や欧米諸国を中心に経済活動の正常化が進んだことで、景気は緩やかに回復いたしました。我が国においても緊急事態宣言の発出と解除が繰り返された中、新規感染者数の増減に合わせた対策が講じられたことにより景気持ち直しの動きが見られました。

当社グループは、コロナ禍におけるサプライチェーンの混乱や原油をはじめとしたエネルギー価格の高騰が続く環境下において、感染症に対する防疫措置を徹底しつつ、顧客要求への機動的な対応を継続したことで、アジア事業、北米事業、欧州・南米事業共に増収増益となりました。

これらの結果、当社グループの連結売上高は595億49百万円(前期比19.2%増)、営業利益は43億2百万円(前期比48.4%増)、経常利益は47億78百万円(前期比43.9%増)となりました。また、米国の連結子会社において中小企業向けの「給与保護プログラム(Paycheck Protection Program、通称PPP)」を活用した融資を受けておりましたが、政府当局から当該融資の債務を免除する通知を受けたことにより、5億1400万円を債務免除益として特別利益に計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は38億9百万円(前期比163.7%増)となりました。

1 浅田真央さんをアンバサダーとして起用、 テレビCM放送開始

フィギュアスケーターの浅田真央さんをアンバサダーとして起用し、2022年1月より企業CM3編をテレビ東京系列(6局)及びテレビ大阪にて公開いたしました。



わたしたちだからこそ、できること
CMのキャッチフレーズは「わたしたちだからこそ、できること」。今を生きる全ての人、そして未来の子ども達のために貢献したいという想いを伝えるため、①フロア編、②スポーツ編、③グローバル編の3編のCMを制作いたしました。

現在もアイスショーの制作・出演や、未来の子ども達のためにスケートリンクを建設したいという夢に挑戦し続けている浅田真央さん。そんな浅田さんと共に、当社が提供するさまざまな商品や価値を広く発信してまいります。

CMで浅田さんが着用しているのは、当社グループが販売展開しているイタリアのスポーツアパレルブランド「MONTURA」のウェアです。今後も企業価値やMONTURAの認知度向上に注力してまいります。

CM動画は、当社のYouTubeチャンネルでも公開中です。



クリヤマYouTubeチャンネルはこちら

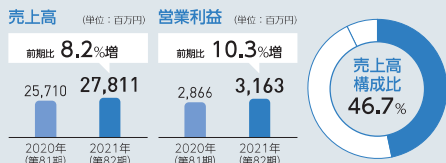


2 中核事業会社「クリヤマ株式会社」を、 「クリヤマジャパン株式会社」へ商号変更

2022年1月1日より、中核事業会社であるクリヤマ株式会社の商号(社名)を「クリヤマジャパン株式会社」に変更いたしました。この社名変更により、クリヤマホールディングスとの役割分担をさらに明確化し、中核事業会社として発展するアジア、とりわけアセアンでの事業展開をより強力に加速したいと考えております。そして北米、欧州・南米中核事業会社との協業を強化しつつ、それぞれの中核事業会社が切磋琢磨することで、グローバルにさらなる成長を目指してまいります。

セグメントのご紹介

アジア事業



事業のご紹介

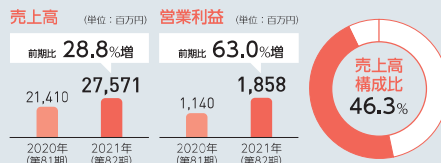
アジア中核事業会社のクリヤマ(株)が、9社の子会社、関連会社との強靱な連携により多角的に事業を展開しております。産業資材、スポーツ・建設、スポーツアパレル等、独自の事業セグメントを形成することで、技術と品質のさらなる向上と革新を目指しております。

当期の概況

- 産業資材事業では建機・農機の生産台数が年間を通じて高水準となり、販売が好調に推移
- 民間の設備投資が引き続き低調であることからスポーツ・建設資材事業の販売が減少



北米事業



事業のご紹介

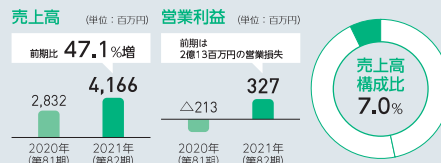
産業用ホースメーカーとして様々な用途に対応する各種ホース及び継手を取り揃えております。北米・中米の各地に生産工場、販売拠点、倉庫を配置し、製販・物流の一貫したサービスにより様々な業種向けにホースを提供しております。

当期の概況

- 飲料用ホース、各種産業用ホース・継手の販売が増加
- 住宅外壁塗装用「ペイントスプレーホース」の製造ライン増設が増収増益に寄与



欧州・南米事業



事業のご紹介

ゴム及びウレタン製のレイフラットホース・ノズルのメーカーとして、生産工場をスペイン・アルゼンチンに配備しております。欧州域内に加え、北米・南米地域における販路を拡大しております。

当期の概況

- 消防機関向け消防用ホース・ノズル、灌漑を含む農業分野向けレイフラットホースの販売が増加
- 2020年末に実施した減損処理及びスペイン製造販売子会社の固定費削減により収益性が改善

